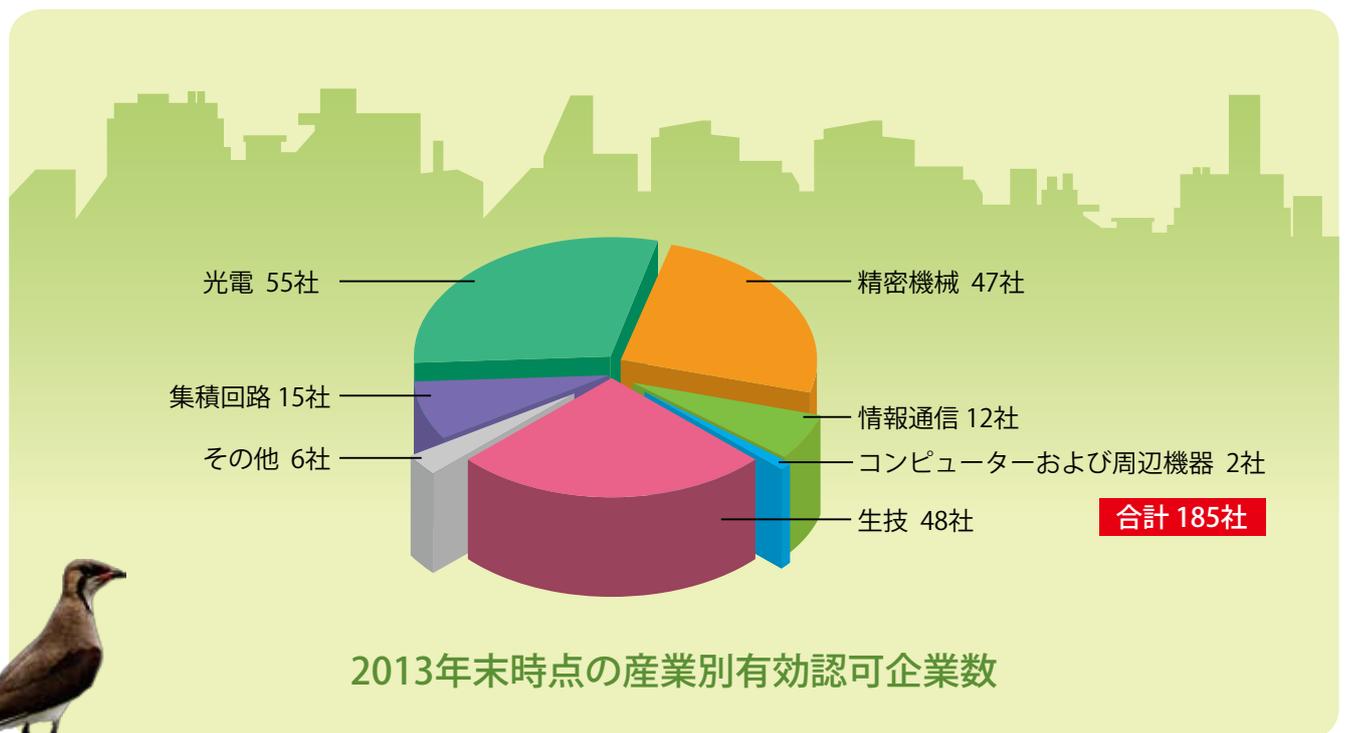
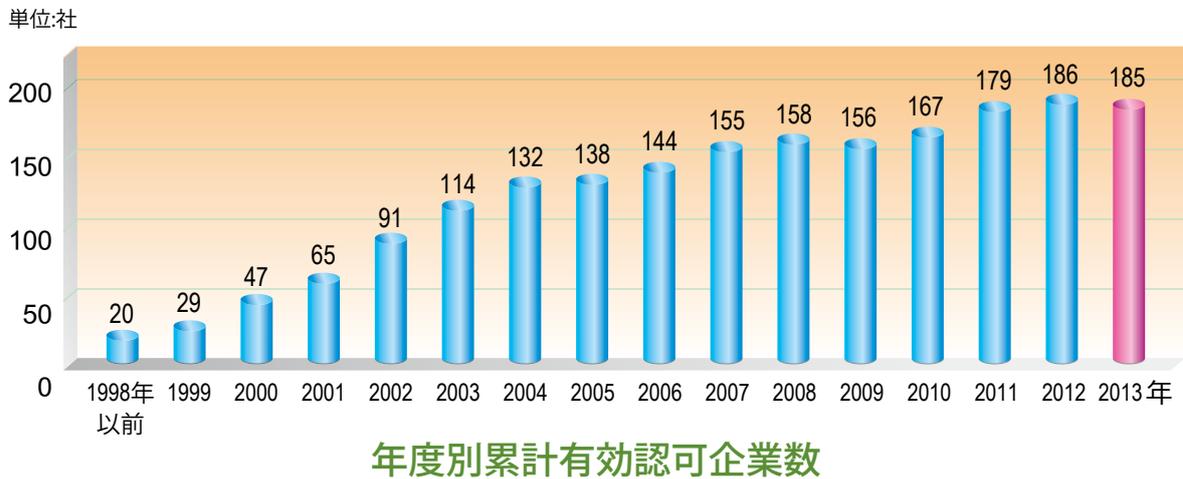




産業の発展 南科の活力

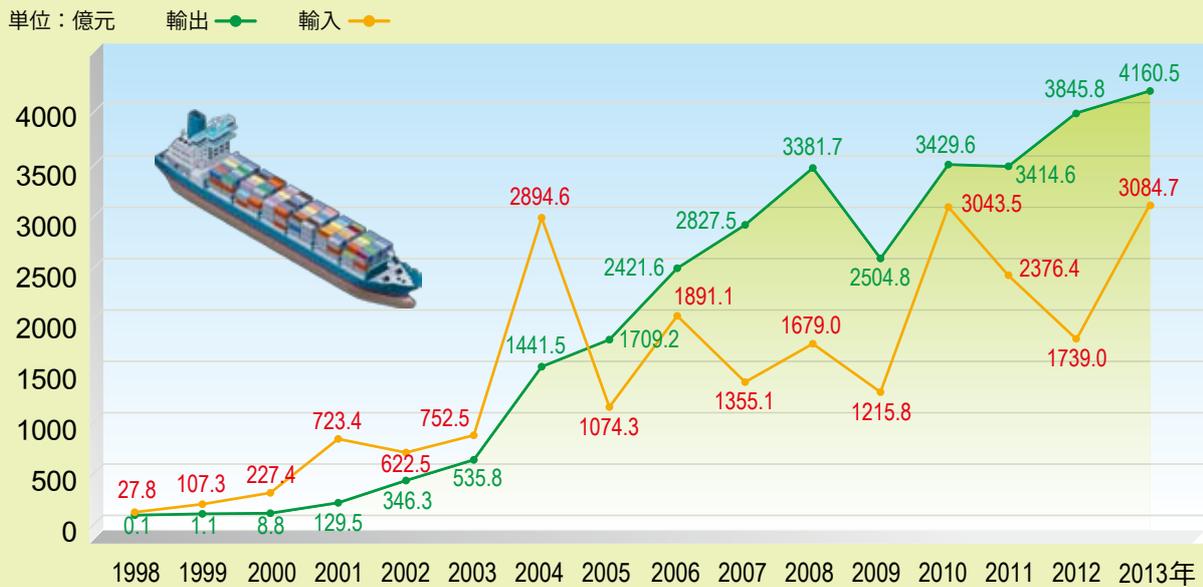
引き続き熱い投資熱 就業者数も過去最高を記録

投資環境の恵まれた南科には近年、国内外の有力企業による進出が相次いでいます。2013年には新たに19社が入居し、投資・増資総額は52.18億元に上りました。このうち13社が量産型の投資で、12社は工場建設に着手しています。有効投資認可件数は2013年までの累計で185社、就業者数は7万人の大台を突破して70896人に達するなど、南科が投資先として依然人気の高いことがうかがえます。



売上高は昨年並み 貿易額は大幅増

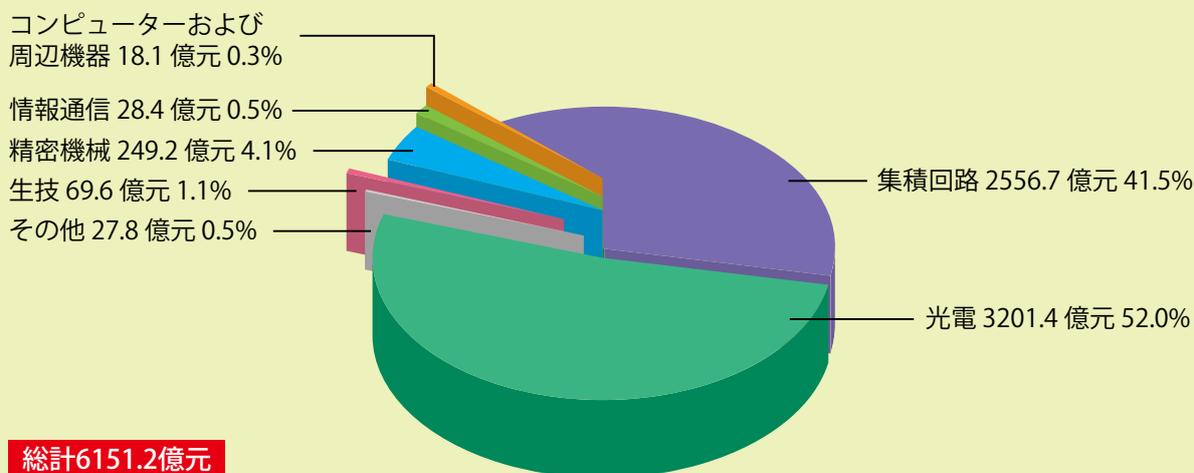
南科の2013年の売上高は6151.21億円でした。集積回路サプライチェーンにおける在庫調整の動きなどが第4四半期の売上高に影響し、2012年比で1.1%のマイナス成長となりました。全体的にみて売上の柱は主に光電子と集積回路の二大産業が担っています。また、輸出額は4160.46億円、輸入額は3084.72億円で、貿易総額は7245.18億円。三大サイエンスパークの中で最も高い29.7%のプラス成長を記録しました。



年度別輸出入額



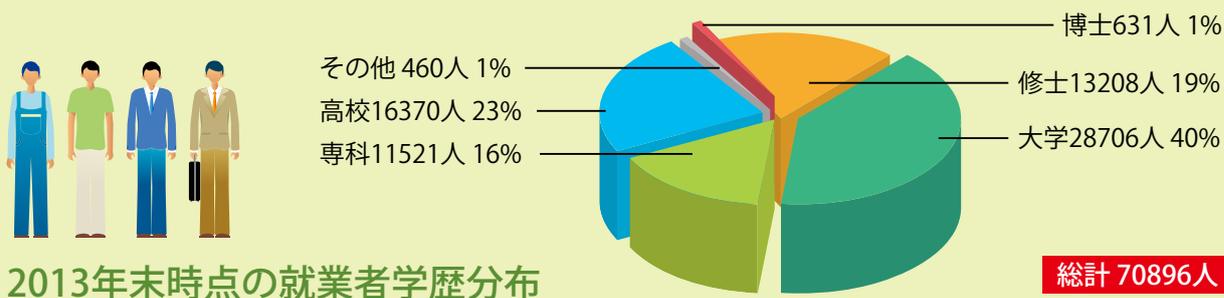
年度別売上高



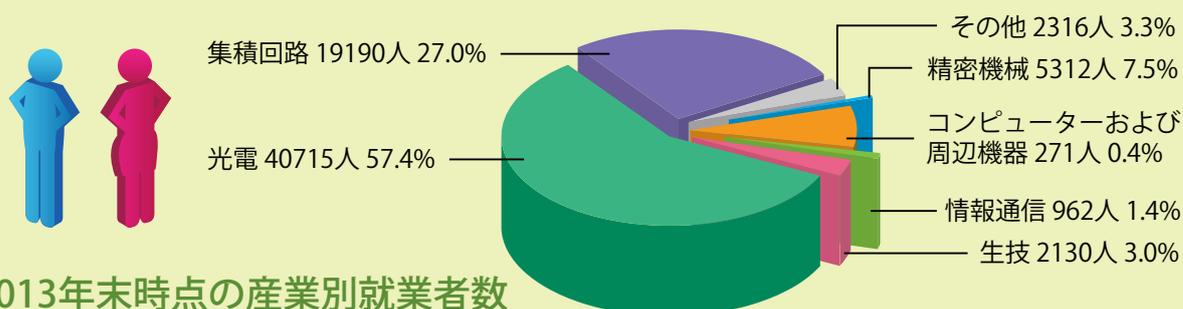
2013年産業別売上高

優秀な人材が続々南科へ

南科への投資拡大を背景に、優秀な人材もまた南科を目指して集まってきます。2013年、南科における就業者数は2012年比9.26%(6009人)増の70896人に達しました。うち、就業者数の増加が最も著しいのは集積回路産業と光電子産業となっています。



2013年末時点の就業者学歴分布



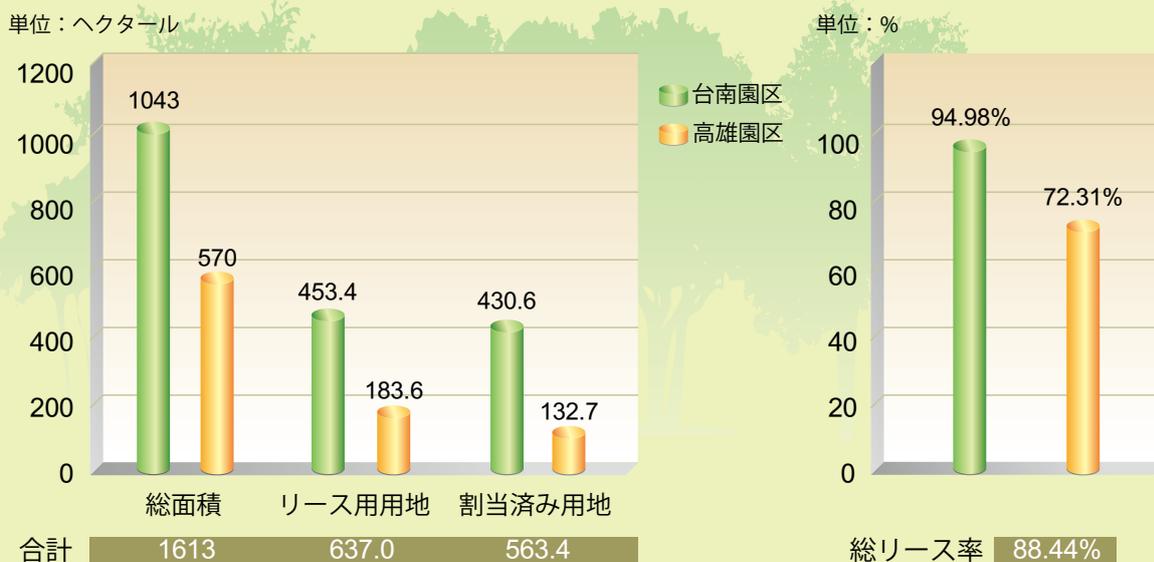
2013年末時点の産業別就業者数



年度別就業者数

リース率が再上昇

2013年には13社が計35.3ヘクタールの用地を、32社が計45ユニットの工場を新規にリースしました。南科のトータルな投資環境の良さが企業の信頼を得ていることがうかがえます。2013年末の時点での台南園区の土地リース率は94.98%、高雄園区は72.31%で、南科全体としての土地リース率は88.44%となっています。



2013年末時点の土地リース状況

